

薬学系人材養成のあり方に関する検討会 —病院の現場から—

星ヶ丘厚生年金病院

吉矢 生人

薬学系人材養成：病院の現場から

- 昔の病院

医師が患者に対しても医療従事者に対してもパターンナリズムを発揮していた

- 今の病院

医師 診断技術と治療技術を提供

看護師 看護ケアを提供

放射線技師 診断・治療の手段を提供

検査技師 診断のためのデータを提供

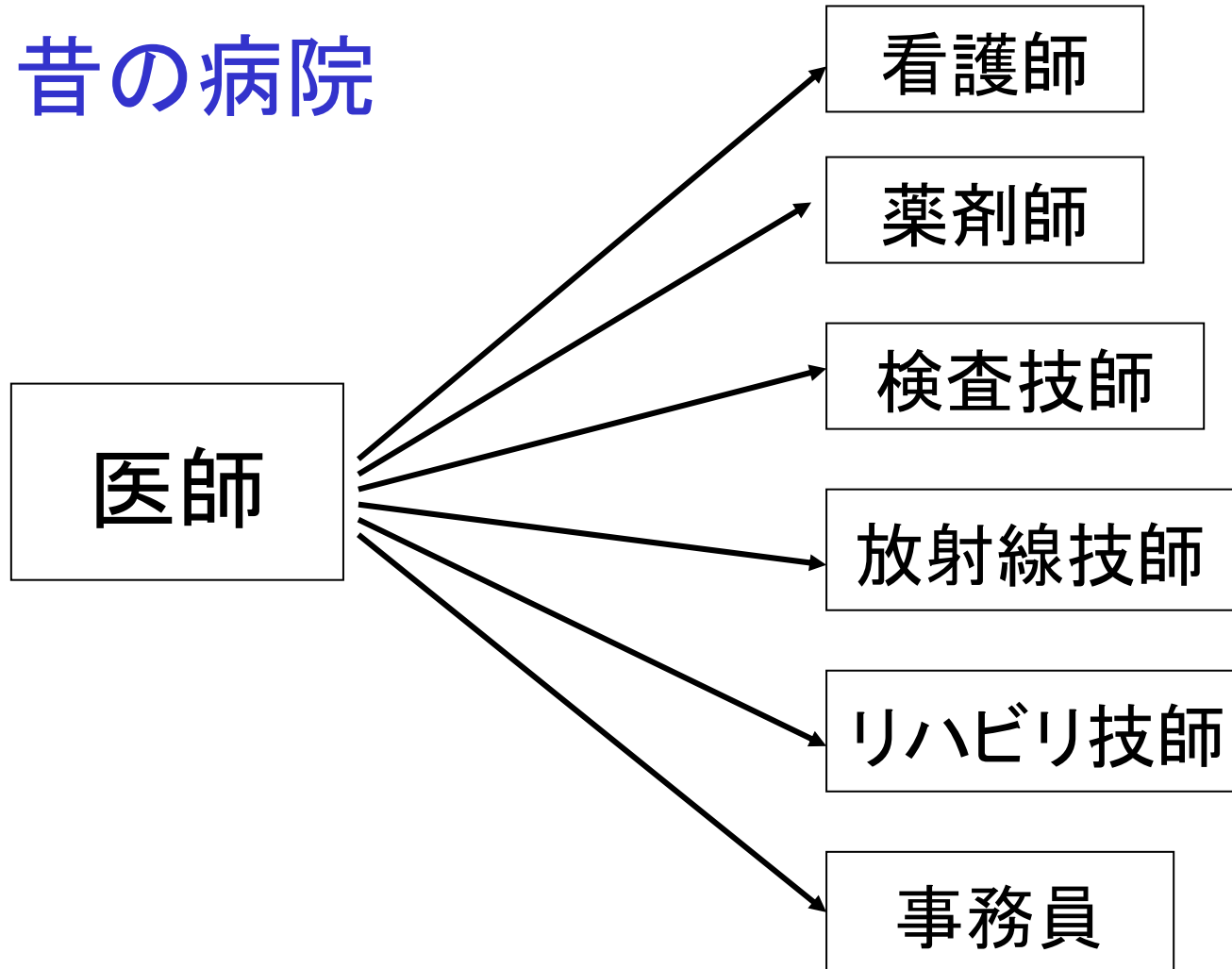
リハビリ技師 機能回復技術を提供

事務員 療養環境を提供

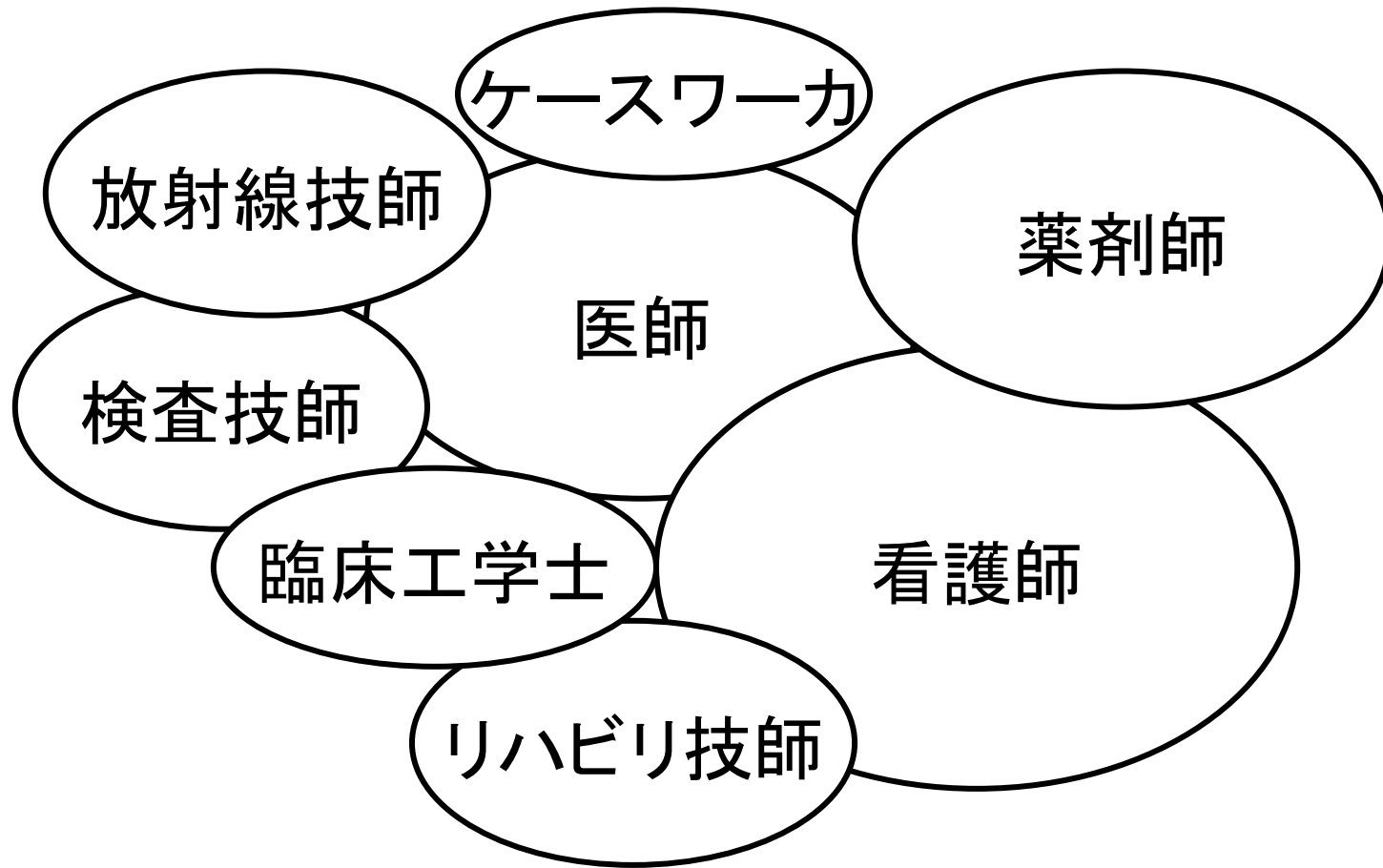
薬剤師

後述

昔の病院



今の病院



病院薬剤師の役割

- 昔の病院
 - 調剤、安全情報の提供
- 今の病院
 1. 調剤：化学療法薬、静脈栄養輸液
 2. 処方チェック（抗がん薬、抗菌薬など）
 3. 服薬指導（入院、在宅患者）
 4. 持参薬チェック（薬剤相互作用など）
 5. 安全対策：医薬品安全情報、副作用報告
 6. 感染対策：薬剤耐性のチェック、滅菌
 7. 治験管理室
 8. 教育・啓蒙活動：職員ならびに地域住民対象
 9. 研究活動

薬剤部業務(星ヶ丘厚生年金病院 H19年)

- 静脈栄養輸液調剤
病棟:1,060件 在宅:561件
- 抗がん剤調剤
外来:986件 病棟:1,450件
- 服薬指導
入院:10,750件 退院時:949件
- 有害事象報告
プリアボイド報告:308件 厚労省副作用報告:10件
- 疑義紹介等
疑義紹介依頼 1,454件 薬剤チェック 4,480件
病棟での処方介入 618件

患者安全の確保

- 報告されたインシデントの約40%が薬剤に関連する。
- 化学療法薬、静脈栄養輸液の正しい調剤
- 持参薬のチェック、処方チェック、服薬指導は安全確保につながる。
- 医薬品安全情報を医師・看護師に周知させる。

チーム医療

- ICT(感染対策チーム):
 抗菌化学療法認定薬剤師
- NST(栄養サポートチーム)
- 緩和ケア
- 褥創対策
- RST(呼吸療法サポートチーム)
- がん診療チーム:
 がん化学療法専門薬剤師

いずれも薬剤師がかかわっている。

薬剤師教育に望むこと

- 薬理学・薬剤学
- 疾病と病態生理
- リスク(安全)マネジメント
- 接遇、コミュニケーション技法
- チーム医療におけるリーダーシップ
- 専門薬剤師の養成
- 医薬品管理:病院経営への貢献
- 臨床研究の手法、臨床研究の推進役
- 治験